

平成27年

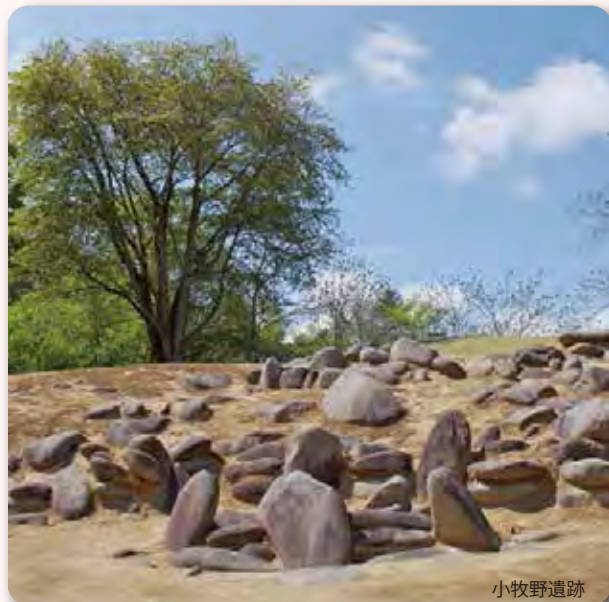
(仮称)小牧野遺跡保護センター 誕生します。

旧野沢小学校

小牧野遺跡は、縄文時代後期(約4,000年前)の環状列石(ストーンサークル)を主体とする遺跡です。本遺跡は、平成7年(1995年)に史跡として国に指定され、現在はユネスコの世界遺産候補(北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群)のひとつとして、登録に向けた取組みが行われています。

青森市では、この小牧野遺跡を中心に、本市の縄文遺跡から出土した遺物を展示するとともに、小牧野遺跡及び縄文文化の価値を伝える拠点施設として遺跡近隣の旧野沢小学校を改修し、「(仮称)小牧野遺跡保護センター」を整備することとしました。

本施設は、縄文時代の世界観を、子どもからお年寄りまで理解できるような展示内容としており、小牧野遺跡の史跡公園とあわせ、平成27年度(2015)にオープンする予定です。



小牧野遺跡

小牧野遺跡の出土品が 青森市指定文化財になりました。

平成25年3月に「小牧野遺跡の縄文後期の遺物67点」及び「小牧野遺跡の続縄文土器1点」の2件が、青森市の有形文化財に指定されました。

これらの遺物は、現在、森林博物館に展示していますが、平成27年から【(仮称)小牧野遺跡保護センター】に展示の予定です。



小牧野遺跡の縄文後期の遺物

縄文時代の生活や祭祀の研究に大きく寄与する資料であるとともに、環状列石の用途・性格を考える上で重要な資料です。



小牧野遺跡の続縄文土器

本市の弥生・続縄文時代の文化様相を端的に示す好資料であるとともに、縄文後期の環状列石の廃絶後の様子を知ることができる貴重な資料です。

平成25年度の発掘調査概要

川原館遺跡・中道遺跡の発掘調査の成果

川原館遺跡・中道遺跡は浪岡地区に所在する遺跡で、佐野沖范線道路整備事業に係り、平成25年度に発掘調査を実施しました。

調査の結果、両遺跡からは平安時代～中世を主体とした土坑、掘立柱建物跡、溝跡、井戸跡、カマド状遺構などを検出し、土師器・須恵器、珠洲などの陶磁器のほか、下駄、漆塗椀、祭祀具などの木製品が出土しました。調査区周辺は、地下水の湧出が認められ、土が水によってパックされているため、通常の遺跡では残らない多くの木製品が出土したと考えられます。発掘調査は次年度以降も継続する予定です。



川原館遺跡 溝跡

石江地区の発掘調査が終了しました。

石江地区に所在する石江遺跡群は、平成15年度(2003年)から石江土地区画整理事業および東北新幹線新青森駅建設に係る発掘調査を継続実施してきました。最終年度にあたる平成25年度は高間(6)遺跡を調査し、近代以降の遺構が見つかるとともに、縄文土器・石器などが出土しました。この調査をもって石江土



新田(1)遺跡出土 鉄刀

地区画整理事業に関する埋蔵文化財の全ての調査が終了しました。

また、家電量販店建設の工事に先立ち、新田(1)遺跡の調査を実施し、平安時代の遺構から長さ約47cmの鉄刀が出土しました。

遺跡を大切に

青森市では、現在までに400箇所以上の遺跡が見つっています。遺跡は地下に埋もれているため、遺跡として登録されていない場所でも新たな遺跡が発見されることがあります。

地面を掘削するような開発工事を行う場合には、計画の早い段階で開発予定地内における遺跡の有無について照会してください。

【照会先】青森市柳川2丁目1-1 青森市教育委員会文化財課

TEL017-761-4796 FAX017-761-4792

